## 1. 容器包装リサイクル法 「帳簿」の記載例[特定容器利用事業者の場合]

業種区分	食料品製造業、清涼飲料製造業及び茶・コーヒー製造業、酒類製造業、医薬品製造業、化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業、小売業、その他の業種
容器包装区分	ガラスびん(無色・茶色・その他の色)、PETボトル(飲料(酒類を含む)又は醤油用)、その他紙製容器、その他プラスチック製容器

特定容器を用いた商品の名称(おおむね同じ形となる。またの容	材料		当該年度に	当該年度に	特定容器を 用いた商品 を輸出した場合		日本国内に のうち自		[ - ]			容器包装廃 棄物排出見 込量	算定のための簡			
状・色・重量の容器を複数の商品に用いている場合には、それらを一つの欄に纏めて計算することは可)	の 構・ 種類 等	特定容器 1個当たり の重量	容器を用い	品に用いた 特定容器の	その容器 の量	輸出先(国 及び企業 等の名称)	販売され 商品に見 た特定名	<b>れた</b> 用い 容器	ら又は他者 への委託に より回収す る量	り、費消された量	[ - ]か ら、事業活動 により費消し た特定容器の 量を控除する 前の量	事業系比率	100-事業系比率	 又は ×	易係数(指定法 人が算出した自 主算定の場合の 係数)	再商品化義務量
		(g)	(個)	= (kg)	( k g )		= (k	g)	( k g )	( k g )	= - (kg)			( k g )		<b>×</b> (kg)
															<u> </u>	
															<del> </del> 	
															<u> </u> 	
\(\frac{1}{2} \)																

注: のうち自ら又は他者への委託により回収する量 」については、利用した容器の同一の業種区分及び同一の容器包装区分のものであれば、自ら利用したものでなくても良いことから、必ずしも商品毎に整理する必要はなく、同一の業種区分及び同一の容器包装区分の総量で整理してもかまわない。

指定法人	しレグ	\ <del></del>	<i>//</i> - 1- /		ï
10 JL 175 /	ιcu.	沙沙市工学会	3 1 1 to 1	おの事に	ı

1.契約締結年月日	年	月	日	3.委託料金の支払期限	年	月	日
2. 予定委託数量			kg	4. 委託料金の支払年月日	年	月	日

## 2. 容器包装リサイクル法 「帳簿」の記載例[特定容器製造等事業者の場合]

業種区分	食料品製造業、清涼飲料製造業及び茶·コーヒー製造業、酒類製造業、医薬品製造業、化粧品·歯磨·その他の化粧用調整品製造業、小売業、その他の業種
容器包装区分	ガラスびん(無色・茶色・その他の色)、PETボトル(飲料(酒類を含む)又は醤油用)、その他紙製容器、その他プラスチック製容器

特定容器の名称 等 (おおむね同じ形 状・色・重量の容	材料 の	杜宁京明	当該年度に	当該年度に	特定容器を 輸出した場合		日本国内に	のうち自 ら又は他者 (		が算定できない場合		易合	容器包装廃 棄物排出見 込量	算定のための簡 見係数/指字法	
状・色・重量の容器を複数の商品に用いている場合には、それらを一つの欄に纏めて計算することは可)	構成 ・ 種類 等	特定容器 1個当たり の重量 当該年度に おける特定 容器の製造 販売個数	『器の製造 した特定容		輸出先(国 及び企業 等の名称)	日本国内に 販売された 特定容器 の量	ら又は他者 への委託に より回収す る量	のうち事業 活動により、費消された量	[ - ]か ら、事業活動 により費消し た特定容器の 量を控除する 前の量	事業系比率	100-事 業系比率 (%)	 又は ×	易係数(指定法 人が算出した自 主算定の場合の 係数)	再商品化義務量	
		(g)	(個)	= (kg)	( k g )		= (kg)	( k g )	( k g )	= - (kg)			( k g )		<b>×</b> (kg)
						i 									
						<u> </u>									
						! !									
						<u>!</u> ! !									

注: のうち自ら又は他者への委託により回収する量 」については、製造等した容器の同一の業種区分及び同一の容器包装区分のものであれば、自ら製造等したものでなくても良いことから、必ずしも商品毎に整理する必要はなく、同一の業種区分及び同一の容器包装区分の総量で整理してもかまわない。

指定法人との委託契約に係る事項

1.契約締結年月日	年	月	日	<u>3 . 委託料金の支払期限</u>	年	月	日
<u>2 . 予定委託数量</u>			k g	4.委託料金の支払年月日	年	月	日

3.容器包装リサイクル法 「帳簿」の記載例 [特定包装利用事業者の場合]

業種区分 食料品製造業、清涼飲料製造業及び茶・コーヒー製造業、酒類製造業、医薬品製造業、化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業、小売業、その他の業種 容器包装区分 紙製包装、プラスチック製包装

特定包装を用いた商品の名称 (おおむね同じ形状・色・重量の包装を複数の商品に用いている場合には、それらを一つの欄に纏めて計算することは可)			特定包装が付された商 品を輸出した場合			0.40	- 1	が算定できない場合			容器包装廃 棄物排出見 込量	算定のため	
	特定包装の 入荷量	のうち当 該年度にお いて使用す る量	その包装の 量	輸出先(国 及び企業 等の名称)	に販売された商品	のうち自 ら又は他者 への委託に より回収す る量	り、費消された量	[ - ] から、事業 活動により 費消した特 定包装の 量を控除す る前の量	事業系比率	100-事業系比率		の簡易係数 (指定法人 が算出した 自主算定の 場合の係 数)	再商品化義務量
	(g)	(Kg)	( k g )		= (kg)	( k g )	( k g )	= - (kg)			( k g )		<b>×</b> ( k g )
												†   	
>													· .v -*:

注: のうち自ら又は他者への委託により回収する量 」については、利用した包装の同一の業種区分及び同一の容器包装区分のものであれば、自ら利用したものでなくても良いことから、必ずしも商品毎に整理する必要はなく、同一の業種区分及び同一の容器包装区分の総量で整理してもかまわない。

指定法人との委託契約に係る事項

<u>1 . 契約締結年月日                                    </u>	<u>年月</u>	<u> </u>	<u>3 . 委託料金の支払期限</u>	年	月	日
2.予定委託数量		k g	4. 委託料金の支払年月日	年	月	日